

JJ-70.30

**IMT-2000(3GPP)ノード間
インタフェース呼関連シグナリング**

Call Associated Signalling of the IMT-2000(3GPP)
Inter-Node interface

第2版

2002年5月30日制定

社団法人
情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE

本書は、（社）情報通信技術委員会が著作権を保有しています。
内容の一部又は全部を（社）情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、
転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

目 次

1 . 概要.....	5
1 . 1 スコープ.....	5
1 . 2 参照.....	5
1 . 3 略語.....	6
1 . 4 本標準の構造.....	6
2 . IMT - 2000 (3GPP) 網内インタフェース.....	6
2 . 1 ISDNユーザ部.....	6
2 . 1 . 1 基本呼手順.....	6
2 . 1 . 2 付加サービス手順.....	6
2 . 1 . 2 . 1 発信者番号通知 (CLIP) / 発信者番号通知制限 (CLIR) 付加サービス.....	6
2 . 1 . 2 . 2 接続先番号通知 (COLP) / 接続先番号通知制限 (COLR) 付加サービス.....	6
2 . 1 . 2 . 3 着信転送 (ビジヤ時着信転送 (CFB) / 無応答時着信転送 (CFNR) / 無条件着信転送 (CFU) / 呼毎着信転送 (CD)) 付加サービス.....	6
2 . 1 . 2 . 4 移動端末着信不可時着信転送 (CFNRc) 付加サービス.....	6
2 . 1 . 2 . 5 保留 (HOLD) 付加サービス.....	6
2 . 1 . 2 . 6 コールウェイティング (CW) 付加サービス.....	7
2 . 1 . 2 . 7 マルチパーティ (MPTY) 付加サービス.....	7
2 . 1 . 2 . 8 閉域接続 (CUG) 付加サービス.....	7
2 . 1 . 2 . 9 課金情報通知 (AOC) 付加サービス.....	7
2 . 1 . 2 . 10 ユーザ・ユーザ情報 (UUS) 付加サービス.....	7
2 . 1 . 2 . 11 呼毎規制 (CB) 付加サービス.....	7
2 . 1 . 2 . 12 非構造付加サービスデータ (USSD).....	7
2 . 1 . 2 . 13 イクシプリシットコールトランスファー (ECT) 付加サービス.....	7
2 . 1 . 2 . 14 話中時再呼出 (CCBS) 付加サービス.....	7
2 . 1 . 2 . 15 名称通知付加サービス.....	7
2 . 1 . 2 . 16 複数加入者プロフィール (MSP) サービス.....	7
2 . 2 広帯域ISDNユーザ部.....	7
2 . 2 . 1 基本呼手順.....	7
2 . 2 . 2 付加サービス手順.....	7
2 . 2 . 2 . 1 発信者番号通知 (CLIP) / 発信者番号通知制限 (CLIR) 付加サービス.....	7
2 . 2 . 2 . 2 接続先番号通知 (COLP) / 接続先番号通知制限 (COLR) 付加サービス.....	7
2 . 2 . 2 . 3 閉域接続 (CUG) 付加サービス.....	8
2 . 2 . 2 . 4 課金情報通知 (AOC) 付加サービス.....	8
2 . 2 . 2 . 5 ユーザ・ユーザ情報 (UUS) 付加サービス.....	8
2 . 2 . 2 . 6 呼毎規制 (CB) 付加サービス.....	8
2 . 2 . 2 . 7 非構造付加サービスデータ (USSD).....	8
2 . 2 . 2 . 8 名称通知付加サービス.....	8
2 . 2 . 2 . 9 複数加入者プロフィール (MSP) サービス.....	8
2 . 3 BICC (Bearer : AAL1).....	8
2 . 3 . 1 基本呼手順.....	8
2 . 3 . 1 . 1 呼制御.....	8
2 . 3 . 1 . 2 ベアラ制御.....	8
2 . 3 . 2 付加サービス手順.....	8
2 . 4 BICC (Bearer : AAL2).....	8
2 . 4 . 1 基本呼手順.....	8
2 . 4 . 1 . 1 呼制御.....	8
2 . 4 . 1 . 2 ベアラ制御.....	8

2.4.2	付加サービス手順.....	9
3.	IMT - 2000 (3GPP) 網と他網間インタフェース.....	9
3.1	ISDNユーザ部.....	9
3.1.1	基本呼手順.....	9
3.1.1.1	IMT - 2000 (3GPP) 網から他網への呼における IMT - 2000 (3GPP) 網の 閉門交換機	9
3.1.1.2	他網からIMT - 2000 (3GPP) 網への呼における他網の閉門交換機	9
3.1.1.3	他網からIMT - 2000 (3GPP) 網への呼における IMT - 2000 (3GPP) 網の 閉門交換機	9
3.1.2	付加サービス手順.....	10
3.1.2.1	ISDN付加サービス.....	10
3.1.2.2	IMT - 2000 (3GPP) 特有付加サービス	11
3.2	BICC (Bearer : AAL2)	12
3.2.1	基本呼手順.....	12
3.2.1.1	呼制御.....	12
3.2.1.2	ベアラ制御.....	12
3.2.2	付加サービス手順.....	12

< 参考 >

1 . 国際勧告等との関連

本標準に関連する国際勧告はない。

2 . 改版の履歴

版 数	制 定 日	改 版 内 容
第 1 版	2 0 0 0 年 3 月 3 1 日	制 定
第 2 版	2 0 0 2 年 5 月 3 0 日	参照する 3 G P P 関連標準の仕様番号体系の変更、および J T - Q 1 9 0 1 制定に伴う改版

3 . 工業所有権

本標準に関わる「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTC ホームページでご覧になれます。

4 . その他

(1) 参照している勧告、標準等

JT-Q730、JT-Q731、JT-Q732、JT-Q733、
JT-Q735、JT-Q737、JT-Q761、JT-Q762、
JT-Q763、JT-Q764、JT-Q2761、JT-Q2762、
JT-Q2763、JT-Q2764、JT-Q1901、

ITU-T Q.734、ITU-T Q.764、ITU-T Q.765、ITU-T Q.765.5、
ITU-T Q.1901、ITU-T Q.2630.1、ITU-T Q.2730、ITU-T Q.2735.1、
ITU-T Q.2761、ITU-T Q.2762、ITU-T Q.2763、ITU-T Q.2764、
ITU-T Supplement BICC-B-ISUP Signalling Mapping 、
ITU-T Supplement BICC-AAL2 Signalling Mapping

以下の 3 GPP 仕様に対応する最新の TTC 標準または仕様

3GPP TS 23.081、3GPP TS 23.082、3GPP TS 23.083、3GPP TS 23.084、
3GPP TS 23.085、3GPP TS 23.086、3GPP TS 23.087、3GPP TS 23.088、
3GPP TS 23.090、3GPP TS 23.091、3GPP TS 23.093、3GPP TS 23.096、
3GPP TS 23.097

1 . 概要

1 . 1 スコープ

本標準は、IMT - 2000 (3GPP) 網内及び網間における呼関連シグナリングを規定する。

1 . 2 参照

以下のTTC標準/ITU-T勧告を参照する。

TTC標準JT-Q730
TTC標準JT-Q731
TTC標準JT-Q732
TTC標準JT-Q733
TTC標準JT-Q735
TTC標準JT-Q737
TTC標準JT-Q761
TTC標準JT-Q762
TTC標準JT-Q763
TTC標準JT-Q764
TTC標準JT-Q2761
TTC標準JT-Q2762
TTC標準JT-Q2763
TTC標準JT-Q2764
TTC標準JT-Q1901
ITU-T勧告Q.734
ITU-T勧告Q.764
ITU-T勧告Q.765
ITU-T勧告Q.765.5
ITU-T勧告Q.1901
ITU-T勧告Q.2630.1
ITU-T勧告Q.2730
ITU-T勧告Q.2735.1
ITU-T勧告Q.2761
ITU-T勧告Q.2762
ITU-T勧告Q.2763
ITU-T勧告Q.2764
ITU-T付録BICC-B-ISUPシグナリングマッピング
ITU-T付録BICC-AAL2シグナリングマッピング

以下の3GPP仕様については対応の最新版TTC標準/仕様を参照する。

3GPP TS 23.081
3GPP TS 23.082
3GPP TS 23.083
3GPP TS 23.084
3GPP TS 23.085
3GPP TS 23.086
3GPP TS 23.087
3GPP TS 23.088
3GPP TS 23.090
3GPP TS 23.091
3GPP TS 23.093
3GPP TS 23.096

1 . 3 略語

本標準では以下の略号を使用している。

A A L	A T Mアダプテーションレイヤ
B I C C	ベアラインディペンデント呼制御
3 G P P	第3世代パートナーシッププロジェクト

1 . 4 本標準の構造

本標準は、以下の2つの部分に分けられる。

- ・ I M T - 2 0 0 0 (3 G P P) 網内インタフェース： I M T - 2 0 0 0 (3 G P P) 網内で送受される呼関連シグナリングに関して記述されている。本標準で規定される呼関連シグナリングは以下のとおりである。
 - (1) I S D Nユーザ部
 - (2) 広帯域 I S D Nユーザ部
 - (3) B I C C (B e a r e r : A A L 1)
 - (4) B I C C (B e a r e r : A A L 2)
- ・ I M T - 2 0 0 0 (3 G P P) 網と他網間インタフェース： I M T - 2 0 0 0 (3 G P P) 網と他網（固定網および公衆陸上移動網）との間で送受される呼関連シグナリングに関して記述されている。本標準で規定される呼関連シグナリングは以下のとおりである。
 - (1) I S D Nユーザ部
 - (2) B I C C (B e a r e r : A A L 2)

2 . I M T - 2 0 0 0 (3 G P P) 網内インタフェース

2 . 1 I S D Nユーザ部

2 . 1 . 1 基本呼手順

基本的なベアラを提供する I S D Nユーザ部プロトコルは、 J T - Q 7 6 1 から J T - Q 7 6 4 を参照する。

2 . 1 . 2 付加サービス手順

2 . 1 . 2 . 1 発信者番号通知 (C L I P) / 発信者番号通知制限 (C L I R) 付加サービス

J T - Q 7 3 1 を参照する。本サービスは、 3 G P P T S 2 3 . 0 8 1 に記述されている。

2 . 1 . 2 . 2 接続先番号通知 (C O L P) / 接続先番号通知制限 (C O L R) 付加サービス

J T - Q 7 3 1 を参照する。本サービスは、 3 G P P T S 2 3 . 0 8 1 に記述されている。

2 . 1 . 2 . 3 着信転送 (ビジー時着信転送 (C F B) / 無応答時着信転送 (C F N R) /

無条件着信転送 (C F U) / 呼毎着信転送 (C D)) 付加サービス

J T - Q 7 3 2 を参照する。本サービスは、 3 G P P T S 2 3 . 0 8 2 に記述されている。

2 . 1 . 2 . 4 移動端末着信不可時着信転送 (C F N R c) 付加サービス

J T - Q 7 3 2 節 2 . 1 ~ 節 2 . 1 0 を参照する。本サービスは、 3 G P P T S 2 3 . 0 8 2 に記述されている。

2 . 1 . 2 . 5 保留 (H O L D) 付加サービス

J T - Q 7 3 3 を参照する。本サービスは、 3 G P P T S 2 3 . 0 8 3 に記述されている。

- 2.1.2.6 コールウェイティング (CW) 付加サービス
JT-Q733を参照する。本サービスは、3GPP TS 23.083に記述されている。
- 2.1.2.7 マルチパーティ (MPTY) 付加サービス
ITU-T Q.734を参照する。本サービスは、3GPP TS 23.084に記述されている。
- 2.1.2.8 閉域接続 (CUG) 付加サービス
JT-Q735を参照する。本サービスは、3GPP TS 23.085に記述されている。
- 2.1.2.9 課金情報通知 (AOC) 付加サービス
ISDNユーザ部プロトコルに影響なし。本サービスは、3GPP TS 23.086に記述されている。
- 2.1.2.10 ユーザ・ユーザ情報 (UUS) 付加サービス
JT-Q737を参照する。本サービスは、3GPP TS 23.087に記述されている。
- 2.1.2.11 呼毎規制 (CB) 付加サービス
ISDNユーザ部プロトコルに影響なし。本サービスは、3GPP TS 23.088に記述されている。
- 2.1.2.12 非構造付加サービスデータ (USSD)
ISDNユーザ部プロトコルに影響なし。本サービスは、3GPP TS 23.090に記述されている。
- 2.1.2.13 イクシプリシットコールトランスファー (ECT) 付加サービス
JT-Q732を参照する。本サービスは、3GPP TS 23.091に記述されている。
- 2.1.2.14 話中時再呼出 (CCBS) 付加サービス
JT-Q733を参照する。本サービスは、3GPP TS 23.093に記述されている。
- 2.1.2.15 名称通知付加サービス
ISDNユーザ部プロトコルに影響なし。本サービスは、3GPP TS 23.096に記述されている。
- 2.1.2.16 複数加入者プロフィール (MSP) サービス
ISDNユーザ部プロトコルに影響なし。本サービスは、3GPP TS 23.097に記述されている。
- 2.2 広帯域ISDNユーザ部
 - 2.2.1 基本呼手順
基本的なベアラを提供する広帯域ISDNユーザ部プロトコルは、JT-Q2761からJT-Q2764を参照する。
 - 2.2.2 付加サービス手順
 - 2.2.2.1 発信者番号通知 (CLIP) / 発信者番号通知制限 (CLIR) 付加サービス
ITU-T Q.2730を参照する。本サービスは、3GPP TS 23.081に記述されている。
 - 2.2.2.2 接続先番号通知 (COLP) / 接続先番号通知制限 (COLR) 付加サービス
ITU-T Q.2730を参照する。本サービスは、3GPP TS 23.081に記述されている。

- 2.2.2.3 閉域接続 (CUG) 付加サービス
ITU-T Q.2735.1を参照する。本サービスは、3GPP TS 23.085に記述されている。
- 2.2.2.4 課金情報通知 (AOC) 付加サービス
ISDNユーザ部プロトコルに影響なし。本サービスは、3GPP TS 23.086に記述されている。
- 2.2.2.5 ユーザ・ユーザ情報 (UUS) 付加サービス
ITU-T Q.2730を参照する。本サービスは、3GPP TS 23.087に記述されている。
- 2.2.2.6 呼毎規制 (CB) 付加サービス
ISDNユーザ部プロトコルに影響なし。本サービスは、3GPP TS 23.088に記述されている。
- 2.2.2.7 非構造付加サービスデータ (USSD)
ISDNユーザ部プロトコルに影響なし。本サービスは、3GPP TS 23.090に記述されている。
- 2.2.2.8 名称通知付加サービス
ISDNユーザ部プロトコルに影響なし。本サービスは、3GPP TS 23.096に記述されている。
- 2.2.2.9 複数加入者プロフィール (MSP) サービス
ISDNユーザ部プロトコルに影響なし。本サービスは、3GPP TS 23.097に記述されている。
- 2.3 BICC (Bearer: AAL1)
 - 2.3.1 基本呼手順
 - 2.3.1.1 呼制御
呼制御信号および信号転送コンバータに関しては、JT-Q1901を参照する。
アプリケーション転送メカニズムに関しては、ITU-T Q.765、ITU-T Q.765.5を参照する。
ベアラ制御アダプタに関しては、ITU-T付録BICC-B-ISUPシグナリングマッピングを参照する。
 - 2.3.1.2 ベアラ制御
ベアラを提供する広帯域ISDNユーザ部プロトコルは、JT-Q2761~JT-Q2764およびITU-T Q.2761~Q.2764を参照する。
 - 2.3.2 付加サービス手順
節2.1.2を参照
- 2.4 BICC (Bearer: AAL2)
 - 2.4.1 基本呼手順
 - 2.4.1.1 呼制御
呼制御信号および信号転送コンバータに関しては、JT-Q1901を参照する。
アプリケーション転送メカニズムに関しては、ITU-T Q.765、ITU-T Q.765.5を参照する。
ベアラ制御アダプタに関しては、ITU-T付録BICC-AAL2シグナリングマッピングを参照する。
 - 2.4.1.2 ベアラ制御
ベアラを提供するAAL2プロトコルは、ITU-T Q.2630.1を参照する。

2.4.2 付加サービス手順

節2.1.2を参照

3. IMT-2000(3GPP)網と他網間インタフェース

3.1 ISDNユーザ部

3.1.1 基本呼手順

基本的なペアラを提供するISDNユーザ部プロトコルは、JT-Q761~JT-Q764およびITU-T Q.764を参照する。IMT-2000(3GPP)網と他網の閉門交換機は、以下の例外を除き、ITU-T Q.764で規定される国際出接続/国際入接続交換機として動作する。

3.1.1.1 IMT-2000(3GPP)網から他網への呼におけるIMT-2000(3GPP)網の閉門交換機

3.1.1.1.1 アドレスメッセージ(IAM)

(1) 着番号

着番号パラメータには移動加入者ルーチング番号(MSRN)が設定される場合がある。移動加入者ルーチング番号(MSRN)が設定される場合には、網内番号表示(INN表示)に“0”が設定される。

(2) ユーザサービス情報

ISDNアクセス表示に“発側のユーザ・網インタフェースがISDN”が設定される場合には、ユーザサービス情報が必ず設定される。

3.1.1.2 他網からIMT-2000(3GPP)網への呼における他網の閉門交換機

3.1.1.2.1 アドレスメッセージ(IAM)

(1) 着番号

着番号パラメータには移動加入者ISDN番号(MSISDN)または移動加入者ルーチング番号(MSRN)が設定される。移動加入者ルーチング番号が設定される場合には、網内番号表示(INN表示)に“0(網内へのルーチング可)”が設定され、移動加入者ISDN番号が設定される場合には、網内番号表示に“1(網内へのルーチング不可)”が設定される。(注)

注) 網内番号表示の設定値は、関連する情報をもった交換機で設定され、他網内は透過に中継される。網内番号表示の利用は、オプションである。

3.1.1.3 他網からIMT-2000(3GPP)網への呼におけるIMT-2000(3GPP)網の閉門交換機

3.1.1.3.1 アドレス完了メッセージ(ACM)

ロケーションレジスタへの問合せや端末のページングによりかなりの遅延が生じる可能性があるため、IMT-2000(3GPP)網はタイマT7を満了させないための特有な動作を行う必要がある。このため、アドレスメッセージを受信するとIMT-2000(3GPP)網は必ず、アーリーACMタイマ(5~20秒)を起動する。このタイマは完全に番号を受信した後で起動されるべきである。このタイマが満了した場合には、アドレス完了メッセージが送信され、IMT-2000(3GPP)網において最初の逆方向メッセージに関するタイマが停止される。

IMT-2000(3GPP)網の閉門交換機が、一旦アドレス完了メッセージを逆方向に送信した場合、それが閉門交換機で生成されたアドレス完了メッセージか、他ノードから受信し中継したアドレス完了メッセージかにかかわらず、さらにアドレス完了メッセージを送信することはない。IMT-2000(3GPP)網でその後受信されたアドレス完了メッセージ内の情報は、呼経過メッセージにマッピングされる。

(1) 逆方向呼表示

以下に示す以外は全て“ 0 ”が設定される。

課金表示：

- 0 0 (表示なし) または
- 0 1 (非課金) または
- 1 0 (課金)

I S D N アクセス表示：

- 1 (着側のユーザ網インタフェースが I S D N)

エコー制御装置表示：

- J T - Q 7 6 4 の手順に従って設定される。

I S U P 1 リンク表示：

- 1 (I S U P 1 リンクである)

3 . 1 . 2 付加サービス手順

3 . 1 . 2 . 1 I S D N 付加サービス

I M T - 2 0 0 0 (3 G P P) 網と他網間で送受信される番号関連パラメータについては、以下のように番号種別表示を設定される。

以下の場合“ 国内番号 (0 0 0 0 0 1 1) ”が設定されなければならない。

- 固定網への着信で固定網に割り当てられている番号に関して、送信側と受信側の関門交換機が同一国に設置されている
- 移動体への着信でホーム網に在圏している移動体に割り当てられている番号に関して、送信側と受信側の関門交換機が同一国に設置されている

上記以外の場合は“ 国際番号 (0 0 0 0 1 0 0) ”が設定されなければならない。

必要があれば、番号関連パラメータを送信する関門交換機は番号種別表示を書き換える。この場合、番号も番号種別表示に従って書き換えられる。

3 . 1 . 2 . 1 . 1 発信者番号通知 (C L I P) / 発信者番号通知制限 (C L I R) 付加サービス

以下の例外を除き J T - Q 7 3 1 を参照する。

(1) 発番号および汎用番号

発番号および汎用番号については、3 . 1 . 2 . 1 の記述が適用される。

移動体発信の発信者番号は発番号パラメータにマッピングされる。番号情報識別子に“ 付加発番号 ”が設定された汎用番号パラメータを I M T - 2 0 0 0 (3 G P P) 網が受信した場合には、汎用番号パラメータは移動体アクセス時に廃棄されるかもしれない。I M T - 2 0 0 0 (3 G P P) 網は、発番号と付加発番号の網検証識別の一貫性はチェックしない。

3 . 1 . 2 . 1 . 2 接続先番号通知 (C O L P) / 接続先番号通知制限 (C O L R) 付加サービス

以下の例外を除き J T - Q 7 3 1 を参照する。

(1) 接続先番号および汎用番号

着番号および汎用番号については、3 . 1 . 2 . 1 の記述が適用される。

移動体着信の接続先番号は接続先番号パラメータにマッピングされる。番号情報識別子に“ 付加接続先番号 ”が設定された汎用番号パラメータを I M T - 2 0 0 0 (3 G P P) 網が受信した場合には、汎用番号パラメータは移動体アクセス時に廃棄されるかもしれない。I M T - 2 0 0 0 (3 G P P) 網は、接続先番号と付加接続先番号の網検証識別の一貫性はチェックしない。

3.1.2.1.3 通信中機器移動 (TP) 付加サービス

JT-Q733を参照する。(注)

注) 通信中機器移動はIMT-2000(3GPP)網では提供されない。

3.1.2.1.4 ユーザ・ユーザ情報 (UUS) 付加サービス

JT-Q737を参照する。(注)

注) 移動体アクセス時の呼設定 (SETUP) メッセージに設定されるユーザ・ユーザ情報パラメータの最大長は35オクテットに制限される。IMT-2000(3GPP)網がアドレスメッセージ内に最大長を超えるユーザ・ユーザ情報要素を受信した場合には、ユーザ・ユーザ情報要素は通知なしに廃棄される。

3.1.2.1.5 閉域接続 (CUG) 付加サービス

JT-Q735を参照する。

3.1.2.1.6 サブアドレス (SUB) 付加サービス

JT-Q731を参照する。

3.1.2.1.7 イクシプリシットコールトランスファー (ECT) 付加サービス

JT-Q732を参照する。

3.1.2.1.8 着信転送 (ビジネスタイミング転送 (CFB) / 無応答着信転送 (CFNR) / 無条件着信転送 (CFU) / 呼毎着信転送 (CD)) 付加サービス

以下の例外を除きJT-Q732を参照する。

(1) 第一着番号、転送元番号および転送先番号

第一着番号、転送元番号および転送先番号については、3.1.2.1の記述が適用される。

3.1.2.1.9 保留 (HOLD) 付加サービス

JT-Q733を参照する。

3.1.2.1.10 コールウェイトニング (CW) 付加サービス

JT-Q733を参照する。

3.1.2.1.11 話中時再呼出 (CCBS) 付加サービス

JT-Q733を参照する。

関門移動通信交換局 (GMSC) はCCBSがサポートされていないと判断した場合には、切断メッセージの診断情報に“CCBS不可能”を設定する。

3.1.2.2 IMT-2000(3GPP)特有付加サービス

3.1.2.2.1 移動端末着信不可時着信転送 (CFNRc) 付加サービス

以下の例外を除きJT-Q732 節2.1~節2.10を参照する。本サービスは、3GPP TS 23.082に記述されている。移動端末着信不可時着信転送により転送された場合、転送理由には移動端末着信不可が設定される。

(1) 第一着番号、転送元番号および転送先番号

第一着番号、転送元番号および転送先番号については、3.1.2.1の記述が適用される。

3.1.2.2.2 マルチパーティ(MPTY)付加サービス

ITU-T Q.734を参照する。本サービスは、3GPP TS 23.084に記述されている。

3.1.2.2.3 課金情報通知(AoC)付加サービス

ISDNユーザ部プロトコルに影響なし。本サービスは、3GPP TS 23.086に記述されている。

3.1.2.2.4 呼毎規制(CB)付加サービス

ISDNユーザ部プロトコルに影響なし。本サービスは、3GPP TS 23.088に記述されている。

3.1.2.2.5 非構造付加サービスデータ(USSD)

ISDNユーザ部プロトコルに影響なし。本サービスは、3GPP TS 23.090に記述されている。

3.1.2.2.6 名称通知付加サービス

ISDNユーザ部プロトコルに影響なし。本サービスは、3GPP TS 23.096に記述されている。

3.1.2.2.7 複数加入者プロフィール(MSP)サービス

ISDNユーザ部プロトコルに影響なし。本サービスは、3GPP TS 23.097に記述されている。

3.2 BICC(Bearer: AAL2)

3.2.1 基本呼手順

3.2.1.1 呼制御

呼制御信号および信号転送コンバータに関しては、JT-Q1901およびITU-T Q.1901を参照する。IMT-2000(3GPP)網と他網の閉門交換機は、例外を除き、ITU-T Q.1901で規定される国際出接続/国際入接続交換機として動作する。例外については、節3.1.1.1から節3.1.1.3を参照する。

アプリケーション転送メカニズムに関しては、ITU-T Q.765、ITU-T Q.765.5を参照する。

ベアラ制御アダプタに関しては、ITU-T付録BICC-AAL2シグナリングマッピングを参照する。

3.2.1.2 ベアラ制御

ベアラを提供するAAL2プロトコルは、ITU-T Q.2630.1を参照する。

3.2.2 付加サービス手順

節3.1.2を参照する。